



令和8年度 「学校における男女共同参画研修」 の実施について

独立行政法人男女共同参画機構

男女共同参画機構（JGEPA）では、初等中等教育におけるジェンダー平等の促進に向けて、国の最新施策や現状・課題を把握するとともに、ワーク・ライフ・バランスや女性管理職登用の意義、個性を尊重した教育のあり方への理解を深め、課題解決の方策を探ることをねらいとし、「学校における男女共同参画研修」を実施します。

■本研修の特長・メリット

- ① 教育長・教育委員会・学校管理職等が直面する喫緊の課題に対応する最新施策を提供
- ② 管理職・教職員のアンコンシャスバイアス・性別役割分担意識の解消とジェンダー平等な学校づくりに資する取組を促進
- ③ 教育現場の抱える課題解決に向けて、全国の仲間と繋がる情報交換会（ライブ配信）
相互交流を通じて、それぞれの知見から新たな取組のヒントを交換する場の提供

■対象：教育長・教育委員、教育委員会及び教育センター等の管理職・管理主事・指導主事・職員、
初等中等教育諸学校（特別支援学校を含む）の管理職・教職員等

■動画配信期間：令和8年7月29日（水）9:00～令和9年1月15日（金）16:00

■方法：オンデマンド配信動画の視聴（一部ライブ配信プログラムあり）

■受講料：無料（通信費は受講者負担）

■申込（ID登録）期間：6月1日（月）9:00～12月18日（金）16:00

■主な内容

- ・女性管理職登用の意義を考えるために必要な視点～多様な教職員の活躍に向けて
- ・ウェルビーイングな働き方改革を目指して～吹田市教育委員会の実践から
- ・学校の当たり前を問い直す～女子の進路選択の現状からみえる課題
- ・児童・生徒を取り巻く性暴力の現状～学校現場で求められる方策
- ・教育分野における男女共同参画の推進に向けた施策（文部科学省施策説明）
- ・こども性暴力防止法の施行に向けて（こども家庭庁施策説明）
- ・女子中高生等の理工系分野への進路選択応援事業について（内閣府男女共同参画局施策説明）

昨年度は全国から約450名が受講しました。＜受講後のアンケートから感想を一部抜粋＞

- ・学校現場で当たり前に行っていることが、ジェンダー・ギャップを生み出していると気付いた。
- ・子供達のロールモデルとしての教員の役割の大切さを認識することができた。
- ・多様な角度からの講義が充実しており、今後の取組に向けて、非常に役立つ内容だった。

本研修は「JGEPA オンラインキャンパス」にて配信します。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

<https://www.jgepa.go.jp/program/training/2026/campus/index.html>

